

近藤栄蔵 ことへぢ えいぞう 社会運動家。明治二十八年二月五日東京生れ、昭和四十年七月二日没（八十三歳）。別名イー・ケイ、伊井敬。明治二十五年アメリカへ渡り、カリフォルニアで農学校に学ぶ。片山潜を知り社会主義運動に参加、大正十年ロンドンに極東委員会に赴き、翌年日本共産黨創設に加はり、十二年ソ聯に亡命。昭和六年國家社会主義に轉向し、戦後は社会福祉事業に従事。

著書『露國革命運動史』（内題「ロシア労働運動史」昭和四年一月十日解放社「官澤用書」）、『江潮』（編、昭和四年十一月二十七日辻江刊）、『プロレタリア雄辯學』（昭和五年六月十五日平凡社）、『プロレタリア演説集』（昭和五年六月二十八日平凡社）、『日本主義認識』（昭和十四年八月八日平凡閣）、『ロムミンテルンの密使（日本共産黨創生秘話）』（昭和二十四年十月十日文化評論社）、『近藤栄蔵自伝』（同志社大文学人文科学研究所編、昭和四十五年二月二十日京都・ひえい書房）等。

